

地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金(地方創生先行型)に係る事業実施結果報告
 (外部有識者及び議会による効果検証の時期・方法・体制等)

① 外部有識者による効果検証の時期		② 外部有識者による効果検証の方法	③ 外部有識者の効果検証の体制	④ 外部有識者による効果検証の公表方法	⑤ 議会による効果検証の有無	⑥ 議会による効果検証の時期		⑦ 議会による効果検証の方法
年	月					年	月	
28	7	地方法制先行型の各事業について、設定したKPIがどの程度達成されているか、事業実施担当課からのヒアリングにより効果を検証。	今別町まち・ひと・しごと創生推進会議委員(大学教授、町議会議員・町商工会長、町教育委員長、青森農協支店長、町農業委員会会長、漁協組合長、町社会福祉協議会長、町観光協会会長、町体育協会会長、青年代表、子育て女性代表、町民代表)の内、大学教授は除く。	町ホームページにより公表予定	実施予定	28	9	外部有識者会議による検証結果を、議員全員協議会に諮り効果の検証を行う。

地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金(地方創生先行型)に係る事業実施結果報告

(各交付対象事業の重要業績評価指標(KPI)の実績値等)

No	① 交付対象事業の名称	② 交付金の種類	③ 実績額 単位:円	④ 本事業における重要業績評価指標(KPI)				⑤ 本事業終了後における実績値		⑥ 外部有識者からの評価		⑦ 実績値を踏まえた事業の今後について		
				指標	指標値	単位	目標年月	実績値	事業効果	事業の評価	外部有識者からの意見	今後の方針	今後の方針の理由	
1	今別町人口ビジョン及び今別町総合戦略策定	基礎交付	5,336	指標①										
2	空家対策調査事業	基礎交付	6,048,000	指標①	空家調査	200	件	H28.3	158	地方創生に相当程度効果があった		平成28年7月に、外部有識者による効果検証を行う予定である。	事業の継続	調査結果を基に、空家等の適切な管理・利活用に関する施策の立案及び空家等対策計画を策定する。
				指標②	移住定住相談	3	件	H28.3	0					
				指標③										
				指標④										
				指標⑤										
3	街なか商店街賑わい創出事業	基礎交付	264,000	指標①	スタンプラリー参加数	350	枚	平成28年3月	325	地方創生に効果があった		平成28年7月に、外部有識者による効果検証を行う予定である。	事業の継続	定期的な継続が重要で、絶えずニーズを考慮しながら内容検討の上事業を展開していくことが必要で、イベント(ビアガーデン等)も計画しながら次年度以降も実施する方向である。
				指標②	ラリー回遊延べ店舗数	1,750	件	平成28年3月	1,300					
				指標③										
				指標④										
				指標⑤										
4	地場産品消費拡大事業(津軽海峡産ウニまつり)	基礎交付	210,000	指標①	ウニ井提供数	200	個	平成28年3月	254	地方創生に効果があった		平成28年7月に、外部有識者による効果検証を行う予定である。	事業の継続	新幹線開業を通して、地域の資源を活用した特産品の販売拡大、観光振興のための事業として継続実施して行くことが必要で、28年はDCキャンペーンとも連動させ実施する方向である。
				指標②	協力者数	60	人	平成28年3月	65					
				指標③										
				指標④										
				指標⑤										
5	荒馬の里「大売出し事業」	基礎交付	230,000	指標①	加盟店販売額	15,000,000	円	平成28年3月	13,500,000	地方創生に効果があった		平成28年7月に、外部有識者による効果検証を行う予定である。	事業の継続	地域消費者に受け入れやすい売出し事業を検討しながら、地域消費拡大を念頭に事業の継続をすることが必要であるものの、現状としては事業所の減少等きびしい環境であるが、事業者が中心となり積極的な事業推進を図る。
				指標②										
				指標③										
				指標④										
				指標⑤										
6	地場産品消費拡大のための雇用拡大事業	基礎交付	1,070,000	指標①	雇用従業員数	2	人	平成28年3月	2	地方創生に効果があった		平成28年7月に、外部有識者による効果検証を行う予定である。	事業の継続	新幹線が開業し、益々地域の地場産品・観光情報等の発信が重要となる。地場産品販売所「なもわーも」は、さらに重要性が増すものと考えられ、継続的に情報発信、地場産品の販売拡大のため今後も実施していく。
				指標②	販売額	7,200,000	円	平成28年3月	6,650,000					
				指標③										
				指標④										
				指標⑤										
7	夢のみやこ歌事業	基礎交付	390,000	指標①	応募総数	200	件	平成28年3月	1,714	地方創生に相当程度効果があった		アンケート調査を実施済	事業の継続	町政施行の節目の年に、開催することにより記念事業として取り組んでいく。
				指標②										
				指標③										
				指標④										
				指標⑤										

No	① 交付対象事業の名称	② 交付金の種類	③ 実績額 単位:円	④ 本事業における重要業績評価指標 (KPI)				⑤ 本事業終了後における実績値		⑥ 外部有識者からの評価		⑦ 実績値を踏まえた事業の今後について	
				指標	指標値	単位	目標年月	実績値	事業効果	事業の評価	外部有識者からの意見	今後の方針	今後の方針の理由
8	地域資源を活用した食産業振興事業	基礎交付	16,807,000	指標① 新事業に向けての導入牛	14	頭	H28.3	14	地方創生に効果があった		平成28年7月に、外部有識者による効果検証を行う予定である。	事業の継続	牛肉生産現場での担い手育成と、レストラン・精肉店などへの販路拡大及び運営組織の強化を計り、特産品としてのPRと定着を図る。
指標② 肥育農家	3	名	H28.3	2									
指標③													
指標④													
指標⑤													
9	漁業種苗放流事業(ナマコ・アワビ増養殖試験事業)	基礎交付	4,471,000	指標① ナマコ・アワビ種苗放流	40,000	尾	H28.3	40,000	地方創生に相当程度効果があった		平成28年7月に、外部有識者による効果検証を行う予定である。	事業の継続	漁獲した成体ナマコ・アワビから人工採苗し、放流できるまで養殖して時期がきたら放流する。またそれを漁獲するというサイクルを行うことで事業を継続し、町特産品としてPR並びに販売促進を計っていく。
指標② 漁家	110	人	H28.3	110									
指標③ 技術研修会参加	20	人	H28.3	30									
指標④													
指標⑤													
10	青森と首都圏をつなぐビジネス交流拠点構築事業(東青地池連携)	タイプ I	634,000	指標①					東青地域連携事業は、青森市からの評価をもって報告とします				
指標②													
指標③													
指標④													
指標⑤													
11	農業移住・新規就農サポート事業(東青地域連携)	タイプ I	406,173	指標①					東青地域連携事業は、青森市からの評価をもって報告とします				
指標②													
指標③													
指標④													
指標⑤													